

リニアは本当に必要か!!

労働条件の低下どころか 経営破たんの危機も!!

JR東海は9月18日に中央新幹線リニアのルート、駅、車両基地の詳細を発表しました。これを受けて、新聞・テレビなどのマスコミは一斉にリニア待望論が席捲しているかのように報じています。

しかし、一方でリニアに対して疑問を呈し、警鐘をならす報道も多くあります。

私たちも、安全面、経済面、環境面など様々な角度から検証する必要があります。特に、リニア建設のための費用捻出のしわ寄せが現場に現れていないかしっかりとチェックする必要があるし、計画自体によるJR東海の経営破たんの危機すら心配されます。

2013年9月25日 東京新聞

JR東海がリニア中央新幹線のルートを発表した。うわっ、南アルプスにトンネルを貫通させるのか。メディアは歓迎ムード一色だけど、採算はとれるの？ 環境への影響は大丈夫なの？

日本自然保護協会が二〇一一年四月に提出した「中央新幹線小委員会答申(案)に対するパブリックコメント」を読むとにわかに気持ちが暗くなる。このルートには中央構造線、糸魚川―静岡構造線などの大断層線のほか二百近くの活断層が存在し、地震の影響を受けられる可能性が高い。地下水環境の変化、作業道路や斜坑の設置、工事の際に出る大量の排土砂など、

日本の
本音の



さいとう みなこ
斎藤 美奈子

それって必要?

環境にかかる負荷は大きく、原生的な自然環境が残された南アルプスに長大なトンネルを掘るべきではない。同様の理由で沿線住民らも、一三年五月、国交大臣に計画の凍結と再検証を求める要請書を提出している。

さらに「必要か、リニア新幹線」の著者、橋山禮治郎氏によると、九兆円超の建設費、在来新幹線の数倍のエネルギー消費、人口減少による需要の低下などでJR東海の経営破綻は必至。JR東海労働組合内でも反対の声が上がっている。

それでも必要だということならともかく、建設しても短縮できるのは一時間余。一時間のために国土を破壊する？ 経済と安全を犠牲にする？ いくつかどこかで見えた構図。原発建設への道を連想してしまう。(文芸評論家)